

施策評価シート(令和5年度実施施策)

総合計画 体系	政策No.	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	施策主管課	建設水道課
	施策No.	1-3	施策名	交通体系の充実	施策主管 課長名	加藤 定行
関係課	政策財政課 建設水道課					

1. 施策の目的

対象	A 町域	意図	A 地域を結ぶ安全で快適な交通環境が整備・維持されている
	B 町民		B 交通弱者にもやさしい交通機関を利用して盛んに移動している

2. 成果指標

2. 成果指標				上段：目標値		下段：実績値		
指標名		単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 町内の道路での移動に不便を感じている町民の割合（減少）（現状値：H28-30平均）	%	34.5	31.7	31.3	31	30.7	30.5
				36.5	36	31.1		
②	B 公共交通での移動に日常的に不便を感じる町民の割合（減少）（現状値：H28-30平均）	%	13.1	8.6	8.6	8.6	8.6	8.6
				10.5	9.5	8.7		
③								
④								

3. 指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	安全・安心に通行できるよう良好な道路状況を維持するため舗装補修及び道路施設の修繕・改良を実施しており、また、令和５年度は降雪が少なかったことから、通勤通学時までに丁寧な除雪ができたことが成果向上の要因と考えられる。
②	あいあいタクシーが高齢者等の町内の移動手段として定着し、令和４年度から開始したAIシステムにより目的地まで乗り継ぎなしで行けるフルデマンド方式になったこともあり、利便性が向上し、利用者も増加傾向にある。その成果として、年々数値も向上しているものとする。
③	
④	

4. 課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

- ・道路を常に良好な状態を保つため、舗装補修及び道路施設の修繕を行うと共に、狭隘な道路の整備を実施した。
- ・あいあいタクシーのさらなる利便性の向上を目指し、かねてからニーズのあった坂下厚生総合病院までの初の区域外運行実現のため、関係機関や利害関係者等と調整しながら地域公共交通会議に諮り、令和6年6月から実証事業として運行が開始されることとなった。

5. 次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

・道路やそれに付随する施設の改良及び修繕計画に基づき工事を実施すると共に、冬期間においては効率的な除雪に努め、良好な道路環境を確保する。

・現行の地域公共交通網形成計画及び再編実施計画が令和7年度で終期を迎えることから、令和8年度を始期とする新たな地域公共交通計画の策定のため、運行事業者や利用者等を対象にヒアリングや調査等を実施し、将来にわたって持続可能な公共交通体系の構築を目指す。

6. 施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和5年度決算額 (千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	4371	道路等負担金事業	1,551	評価対象外	評価対象外	評価対象外	
2	4568	道路新設改良等事業	230,315	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
3	4712	公共交通利用促進事業	72,328	拡充	拡大	①有効性改善	○
4	16755	除雪対策事業	139,826	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
5	16756	道路維持管理事業	176,690	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
6	16757	橋梁長寿命化補修事業	42,352	現状維持	現状維持	⑤現状維持	